

## 談話モデル理論に基づく現代中国語人称詞「人家」 の分析：「人家」の関連対象喚起用法を中心にして

任, 暁雪  
九州大学大学院地球社会統合科学府

<https://doi.org/10.15017/2348687>

---

出版情報：地球社会統合科学研究. 11, pp.77-87, 2019-09-25. Graduate School of Integrated Sciences for Global Society, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

# 談話モデル理論に基づく現代中国語人称詞「人家」の分析

## —「人家」の関連対象喚起用法を中心に—

ニン ギョウ セツ  
任 曉 雪

### 1. はじめに

現代中国語における「人家」は、普通名詞と人称代名詞という2つの品詞に分類されている。このうち、本稿では、人称代名詞として使用される「人家」を対象とする。人称代名詞としての「人家」は様々な人称に言及し、多様な用法がある。しかしながら、先行研究では各用法の詳細な記述はあるが、「人家」という形式の本質的機能に関する議論はない。そこで本稿は人称代名詞として用いられる「人家」の本質的機能を解明するために、東郷(2000)が提唱する「談話モデル理論」を援用し、この理論が「人家」の用法をどのように説明することができるのかを、「人家」の関連対象喚起用法を基に検証していく。

本稿の構成は次のとおりである。まず、第2節では人称代名詞として使用される「人家」に関する先行研究を概観する。次に、第3節では、まず、本稿が使用する資料体について触れ、次に、本稿が援用する東郷(2000)の「談話モデル理論」及びその基礎的な用語・概念の説明をする。続く、第4節では、「人家」の関連対象喚起用法について解説した上で、それを談話モデル理論によって分析する。その後、第5節では、第4節で明らかになったことをまとめる。

### 2. 先行研究

先行研究によると、「人家」には旁称用法<sup>1</sup>、3人称用法、1人称用法などの用法があるとされている。「人家」の諸用法についての分類については、これまでも様々なものが提示されてきたが、その中でもっとも代表的なのは呂主編(1980)の分類だと思われる。呂主編(1980)の代名詞としての「人家」の説明は、以下のとおりである。

[代] 1. 泛称说话人和听话人以外的人,和‘自己’相对,大致相当于‘别人’。

(話し手と聞き手以外の人を指し、‘自己’と対

をなす。ほぼ‘別人’に相当する<sup>2</sup>。)

2. 称说话人和听话人以外的人,所说的人已见于上文。大致等于‘他’或‘他们’。  
(話し手と聞き手以外の人で、すでに前に現れた人を指す。ほぼ‘他’あるいは‘他们’に相当する。)
3. 在名词性成分前加‘人家’,语气较生动。  
(名詞的要素の前に‘人家’を付けると、いきいきとした表現になる。)
4. 称说话人自己,等于‘我’。稍有不满的情绪。  
(話し手自身を指す。‘我’に相当する。やや不満の気持ちが含まれる。)

呂主編(1980)は、人称代名詞としての「人家」には、1.話し手と聞き手以外の人を指し、「自己(自分)」と対立し、ほぼ「別人(他の人)」に相当する用法、2.話し手と聞き手以外の人で、ほぼ「他(彼)」あるいは「他们(彼ら)」に相当する用法、4.話し手自身を指し、「我(私)」に相当する用法、があるとしている。このうち1の用法は一般に旁称用法と呼ばれるものであり、2の用法はその3人称用法、3の用法はその「人家+名詞」用法、4の用法はその1人称用法と呼ばれるものである。

また、「人家」については、2人称用法が定着しているのか否かという論争もあった。定着していると提唱するものとしては張・方(1996)や邵(2003)などがある。張・方(1996:167)は、以下の例を挙げながら、「谈话的参与者只有甲乙两人,而且谈论的话题不涉及第三方,乙站在对方的角度说话,“人家”指甲以外的人,这个人只可能是乙。(発話参加者は甲と乙であり、発話の内容は第三者には関わらず、乙は相手の立場であり、「人家」は甲以外の人を指すが、そのような人は乙しかいない。)」と述べている。

- (1) ……刚才听得小弟弟说,你有了很好的太太,还有了可爱的孩子了,像我这样一个游丝似的系在人间的人,何必再来破坏人家的幸福呢?  
さつき 聞く 小さい弟 言う 貴方 ある 過去形 とても いい 奥さん  
又 ある 過去形 可愛い 子供 感嘆詞 まるで 私 こんな  
一人 系 ように 絡める に 世間 の 人 なぜ 又 壊す  
人家 の 幸福 呢?  
ひと の 幸せ 疑問詞 《田汉剧作选》p.128

「弟さんから、あなたに優しい奥さんがいて、可愛いお子さんもいると聞いている。根無し草のように世間に漂っている私は、ひとの幸せを壊すようなことはしない。」

一方、張 (2012) は、「人家」の2人称用法は文脈によって生じた一時的な意味であり、各辞典にはそれに関するものが記載されておらず、「人家」の2人称用法はまだ定着していないと主張しているが、それ以上の説明はない。また、「人家」に2人称用法を認める先行研究の中には、「人家」には話し手の感情表出機能が働くのに対して、2人称代名詞「你」にはそのような感情表出機能はない、とするものも多い (杜2002、楊・楊2006、張・韓2011など)。また、呂主編 (1980) を始めとして、万 (2006) など、「人家」に関する先行研究にはその2人称用法の有無に関して何の言及もないものもある。本稿は「人家」の2人称用法を対象としないため、これ以上触れない。

ところで、これまで、上述した「人家」の各用法と諸用法に対応する人称代名詞との置換は可能であるとされてきた。しかし、筆者が収集した資料体<sup>3</sup>では先行研究に指摘された人称代名詞との置換ができないものが収集された。従来の研究では、そのような用法は扱われずにきた。しかし、「人家」の本質的機能を考えるにあたり、そのような用法も「人家」を理解する上では無視することができない。そこで、本稿は当該用法を「関連対象喚起」用法と称し、その特徴を明らかにしていきたい。

### 3. 資料体・理論的枠組

まず、本稿で使用した資料体について説明しておく。人称詞「人家」は、特に、会話文に頻繁に出現することから、本稿では、『中日対訳コーパス』(第一版) (2003、北京大学日本学研究所) より19冊の中国語小説と、各小説の日本語訳文が電子化されたテキストを利用した<sup>4</sup>。なお、選択した各小説が扱っている年代は、1920年から1980年代までである。ただ、「人家」の特徴や傾向をより客観的に捉えるには、『中日対訳コーパス』では扱われていない1980年代以降の作品データも必要である。そこで、1980年代から現在までの中国語現代小説6冊も補足として利用した。さらに、必要に応じて、一部で、先行研究における例や、中国語母語話者である筆者が作成した例も用いた。

次に、本稿が根拠とした東郷 (2000) の談話モデル理論 (Discourse Model Theory) を説明する。東郷の談話モデルは、Fauconnierのメンタル・スペース理論に基づいたもので、そこでは、談話 (discourse) とは「話し手と

聞き手の両方の側に、談話の進行に応じて構築される心的領域 (mental representation) である」(東郷1999:35) と定義されている。また、東郷 (1999:35) によれば、談話モデルには導入された指示対象が格納される領域として、以下で示すA.共有知識領域、B.発話状況領域、C.言語文脈領域という3つの領域がある。そのうち、共有知識領域には、世界についての一般的知識「百科事典的知識」と個人的経験「エピソード記憶」が格納されている。

- (2) A. 共有知識領域 (Shared Knowledge)
  - a. 百科事典的知識
  - b. エピソード記憶
- B. 発話状況領域 (Context of Use)
- C. 言語文脈領域 (Linguistic Context)

また、この談話モデルは話し手と聞き手の両者に構築されるため、話し手側の談話モデルはDM-S、聞き手側のモデルはDM-Hとされ、それらは次のように図式化されている。なお、DM-SとDM-Hは、談話の進行に従い調整される。

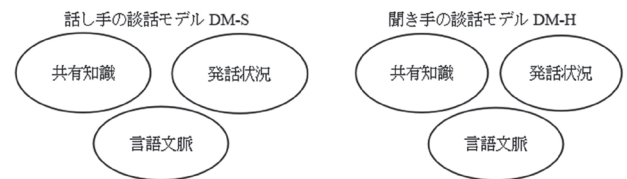


図 1-1 話し手と聞き手の談話モデル (東郷 2002:3)<sup>5</sup>

共有知識領域の中の百科事典的知識とは、世界についての常識的知識である。例えば、本稿執筆時のアメリカ合衆国の大統領はドナルド・トランプであるといった知識は、図1-2にあるDM-Sの共有知識領域に百科事典的知識a1として格納されている。この知識a1は、予め話し手と聞き手のそれぞれの共有知識領域に登録され存在しているため、談話に直接に導入することができる。

そして、「アメリカ大統領ドナルド・トランプ」は話し手の発話によってa2として話し手の言語文脈領域に導入される。「アメリカ大統領ドナルド・トランプ」に関する知識a1は、すでに話し手の共有知識領域に登録され格納されており、つまりDM-Sの共有知識領域にその対応物を持っているため、a1の指示対象とa2の指示対象の同一性が確認され、知識リンクで結ぶことができる。次に、DM-Sに導入された指示対象a2は、すぐDM-Hの言語文脈領域に対応物a3を形成する。このa3は、DM-Hの共有知識領域に予め格納されているa4と照合され、その同一性が確認されると知識リンクで結合

されることが可能になる。

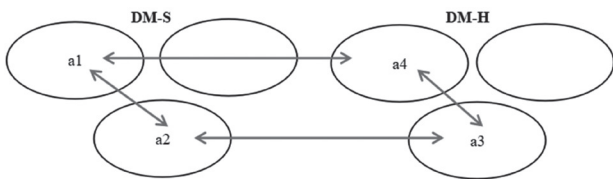


図 1-2

一方、発話状況領域とは、話し手と聞き手の発話現場とその場にあるものが格納される心的領域である。例えば、AとBが同じ発話現場におり、AがBの近くにある本を渡してもらいたいとき、「Bさん、その本を渡してください。」と言うのは適切な発話である。

以下の図1-3が示すように、まず、AとBの発話現場にある本はDM-SとDM-Hの発話状況領域にそれぞれa1,a4として格納されている。次に、話し手の発話「Bさん、その本を渡してください。」によってa1はa2としてDM-Sの言語文脈領域に導入される。その後すぐDM-Hの言語文脈領域にa2の対応物a3が形成される。このa3は聞き手の発話状況領域に予め登録されているa4と照合され、その同一性が確認されると知識リンクで結ばれ、「その本」で指示することが可能になる。

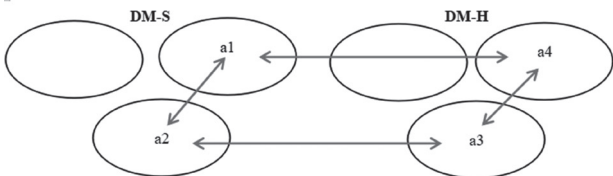


図 1-3

また、言語文脈領域とは、談話の進行に従って話題に出現した対象及びそれに関する知識が格納される心的領域である。東郷(2000:2)によると、言語文脈領域だけが談話の開始時にその値がゼロであると記述されている。また、東郷(2002:3)では話し手の発話により、対象aがDM-Sの言語文脈領域に導入され、aの対応物であるa'がDM-Hの言語文脈領域にコピーされ、この両者は同一性を保証するリンクで結合されていると記述されている。

東郷(2000)は、Clark&Marshallが指摘したmixtures(言語文脈領域と共有知識領域の両方にまたがるハイブリッド型の指示)のほか、発話状況領域と言語文脈領域にまたがるハイブリッド型の指示と、言語文脈領域と共有知識領域にまたがるハイブリッド型の指示という2つのタイプのハイブリッド型の指示を提案した。まとめると、以下のように、6種類の指示があることになる。

- (3) A. 共有知識領域 Columbus discoverd America in 1492.
- B. 発話状況領域 I'll take this.
- C. 言語文脈領域 Augustus is a friend of mine. He is fond of fishing.
- D.(=A+B) I had exactly the same thing happen to my car.
- E.(=B+C) Because you are talking about girls, look at this one(sing.fem.proximal) .
- F.(=C+A) I bought a candle yesterday,but the wick had broken off.

(東郷 2000:7-8)

ここで、特に、本稿の研究対象に関連の強いFについて説明しておく。Fは連想照応として知られている指示である。the wickは、その先行詞がないにも関わらずスムーズに理解できる。この解釈には、前文に出現したトリガーのa candleとA candle has a wickという知識が必要である。つまり、言語文脈領域と共有知識領域をブレンドしたものとなる。後述する「人家」の関連対象喚起用法は、このハイブリッド型の指示とほぼ同じ振る舞いをすると考えられる。

#### 4. 考察

前述したように、旁称代名詞「別人」、3人称代名詞「他」、1人称代名詞「我」、2人称代名詞「你」との置換ができない「人家」の用法を本稿では「人家」の「関連対象喚起用法」と呼ぶ。それは次のような用例に見られる用法である。

- (4) Mark 陪着 海萍 去了 公安局。人家 把 Mark 拦 门口 说：“只问 她 一个，你 不必进了。”  
人名 お供する 人名 行く 過去形 警察署 「警察」 役位 人名  
 止める ゲート 言う ただ 聞く 彼女 一人 貴方 否定 入る  
 《蜗居》

「Markは海萍のお供をして警察署に行ったが、[警察に]ゲートで止められ、「彼女ひとりしか取り調べないので、あなたは入らないでください。」と言われた。」

例(4)の「人家」は、いずれの人称代名詞<sup>6</sup>とも置換できない。また、この「人家」の前後文脈には照応できるものがないようにみえる。しかし、実際には、前文に出現した「公安局」(警察署)という機関との連想関係で、それと関連性が高い警察官が「人家」の対象として推測されることになる。この用法は、「人家」が元来「人の家」を表し、次に「人の家」からその家に住む人を指

すようになったという「人家」の由来及びその意味変化に大いに関係するものと思われるが、このような用法は「人家」以外の他の人称代名詞には見られない。

一方、この用法は、いわゆる「連想照応」と呼ばれる現象が生じる際のメカニズムと類似したメカニズムによって生じている。東郷（2000:6）によると、連想照応とは言語文脈領域と共有知識領域の両方にまたがるハイブリッド型の指示であるとする。その代表的な例をあらためてあげる。

- (5) (=3F) I bought a candle yesterday, but the wick had broken off.  
 「昨日キャンドルを買ったが、芯が折れていた。」<sup>7</sup>

東郷（2000）によると、the wickの理解には、a candleの存在とA candle has a wick.という知識が必要であり、それが言語文脈領域と共有知識領域をブレンドした連想照応であるとされる。以下、この連想照応に類似する「人家」の関連対象喚起用法を、例をあげながら見ていきたい。

- (6) 他身边那个小胖子舔着嘴唇说,“咱们还不  
 如 上甘岭 呢,人家还有一壶水能传着  
 喝,可咱们的水壶早就干得叮当响  
 啦!” 《轮椅上的梦》  
 「となりのデブが唇をなめながら言った。「おれたち  
 はもっとひどいぜ。上甘嶺（戦役）では、[兵士た  
 ちは] 水筒を取り次いでもらって飲むことができた  
 んだ。おれたちときたら、水筒はとっくにカラカラ  
 鳴ってるぞ!!」

この例では、「人家」の先行詞が先行文脈に出現していないが、その指示対象が誰であるかを判断することは難しくない。それは、前文に出現した「上甘嶺」（戦役）という戦役との連想関係で指示対象が推測されるからである。以下、例（6）の「人家」の指示対象がどのように理解されるかを示す。

まず、その理解には、上甘嶺（戦役）が特定の戦役を指すという知識が必要である。上甘嶺という語は特定の戦役を指すが、その背景には爆弾、戦車等、戦争に関わる様々な対象物や概念がある。このようにある語の理解に欠かせない、その語と関連する一連の対象物や概念を喚起するものをその語の「フレーム<sup>8</sup>」とすると、上甘嶺は「戦争フレーム」を持つということになる。そして、「人家」は上甘嶺が持つこの「戦争フレーム」のうち戦

争に参加する兵士をその対象として指示することになる。「人家」が兵士を指示対象とするのは、それが専ら人を指示する人称代名詞だからである。

これをより具体的に示すと以下ようになる。「人家」の直前に発話された「上甘嶺」という語の指示対象は共有知識領域にA1として登録されている。この「上甘嶺」は戦役なので、発話されると同時に「戦争フレーム」も発動されることになる。次に「人家」が発話され、それは言語文脈領域にa1として導入されることになるが、その照応すべき指示対象は明示されていない。しかし、この「人家」の指示対象は、先に見た例（3F）のthe wickと同じく、連想照応によって理解される。つまり、ここでは「戦争フレーム」を持つ直前の「上甘嶺」がトリガーとなり、「人家」の指示対象は「上甘嶺」の「戦争フレーム」中の「兵士たち」（A1）とリンクされ、同定されることになるのである。一方、話し手の言語文脈領域に導入されたa1はそのまま聞き手の言語文脈領域にa2としてコピーされる。そして、このa2の指示対象の理解も、話し手の場合と同様、連想照応によって行われる。つまり、「人家」の直前に発話された「戦争フレーム」を持つ「上甘嶺」がトリガーとなり、「人家」の指示対象は「上甘嶺」の「戦争フレーム」中にある「兵士たち」（A2）とリンクされ、同定されることになるのである。

ここで重要なのは、話し手の共有知識領域のA1'と聞き手の共有知識領域のA2'がリンクされている点である。このリンクは「上甘嶺」という語の持つ百科事典的知識によって保証されたもので、話し手の「上甘嶺」の戦争フレームにある兵士と聞き手の「上甘嶺」の戦争フレームにある兵士の同一性を確保している。このように、話し手の共有知識領域と聞き手の共有知識領域のリンクこそ「人家」の関連対象喚起用法には欠かせない条件となる。以上のことを図示すると図1-4および図1-5になる。

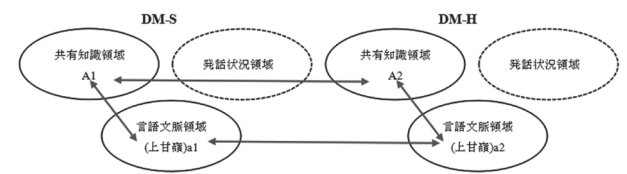


図 1-4 「上甘嶺」の談話モデル<sup>9</sup>

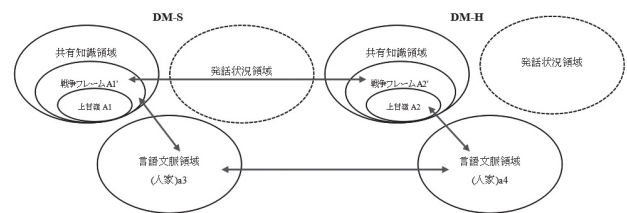


図 1-5 「人家」の談話モデル

すなわち、例（6）の「人家」の指示対象理解は言語文脈領域と共有知識領域の両方にまたがるハイブリッド型の指示に因るものと言える。

次に、もうひとつ「人家」の関連対象喚起用法を見てみる。

- (7) 甲：今天去 医院，人家 说 没事儿。  
今日 行く 病院 言う 大丈夫  
 「今日病院に行って、[医者に] 大したことはないと言われた。」
- 乙：哦。那 人家 没 给你 开 点儿 药 吗？  
そう それじゃ 否定 に 買方 出す 少し 薬 疑問詞  
 「そうか。それで、[医者は] 何か薬を出してくれただか？」  
 （筆者作例）

例（7）も前文に「人家」が照応すべき対象を示すものはない。しかし、例（6）と同じく、ここでも「人家」の指示対象は連想照応によって理解される。つまり、ここでは「病院フレーム」を持つ直前の「医院」がトリガーとなり、「人家」の指示対象は「医院」の「病院フレーム」中の医者や看護師ということになる。ただ、例（7）の「人家」が指す人は、患者の病状に対して「大したことではないこと」と述べることのできる人物であることから、その対象は医者と判断されることになる。これを図1-6、図1-7に即して解釈すると次のようになる。つまり、「人家」の直前に発話された「医院」は話し手の共有知識領域に指示対象A1を登録しており、この「医院」は「病院フレーム」を持つ。一方、「人家」が発話されると言語文脈領域にa1が導入されるが、その照応すべき指示対象は明示されていない。しかし、前述のように、その指示対象は連想照応によって理解される。すなわち、それは共有知識領域の「医院」の「病院フレーム」中の対象（A1'）の医者ということになるのである。一方、聞き手側における理解は次のようになる。「人家」の発話と同時に話し手の言語文脈領域に導入されたa1はそのまま聞き手の言語文脈領域にa2としてコピーされる。そして、このa2の指示対象は、話し手が「医院」を発話した際に聞き手の共有知識領域に登録されたA2の「病院フレーム」中のA2'にリンクされることになる。そして、この聞き手のA2'と話し手のA1'がリンクされると、このa2の指示対象とa1の指示対象の同一性は確保されることになる。

以上のことから、例（7）の「人家」の用法も言語文脈領域と共有知識領域の両方にまたがるハイブリッド型の指示と言える。以上を図示すると、図1-6および図1-7になる。

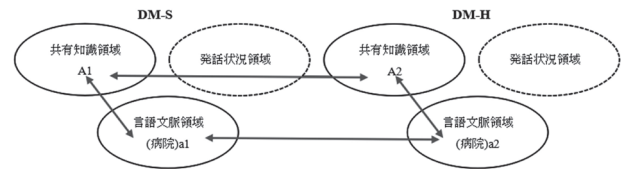


図 1-6 「病院」の談話モデル

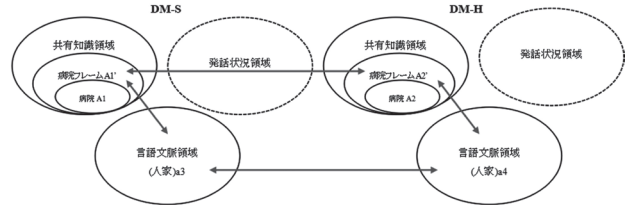


図 1-7 「人家」の談話モデル

ところで、例（7）の「人家」を、次の例のように、そのまま3人称代名詞「他」に置き換えることはできない。

- (8) 甲：今天去 医院，#他 说 没事儿。  
今日 行く 病院 彼 言う 大丈夫  
 「今日病院に行って、#彼はたいしたことではないと言った。」

3人称代名詞「他」は、発話場面にいる話し手・聞き手にとって特定の第三者、もしくは会話や文中の先行文脈に出現した特定の人物を指示する。それに対し、上でも見たように、当該「人家」の指示対象は話し手・聞き手の双方にとって特定の人ではなく、共有知識領域に登録された対象の意味フレームから連想によって理解するしかない人だからである。

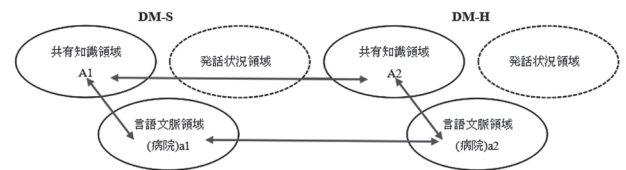


図 1-8 「病院」の談話モデル

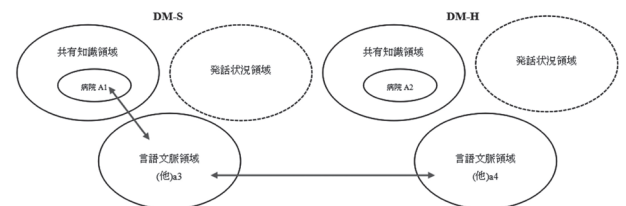


図 1-9 「他」の談話モデル

以上、「人家」は先行文脈に出現した「上甘嶺」（戦役）

のような特定の出来事、また、病院といった特定の機関・場所の持つ意味フレーム中に存在する人をその指示対象とすることができる「人家」の使用は、話し手の談話モデルDM-Sの共有知識領域と聞き手の談話モデルDM-Hの共有知識領域に登録されている対象の同一性が保証されることによるのみ可能となるのを見た。

しかしながら、「人家」の例の中には、先に見た「上甘嶺」「医院」といった指示対象の照応先の連想を可能にする語が見当たらないものもある。次の例(9)を見られたい。

- (9) 张春元说：“您不知道，我写的稿子每次退回来，人家连封信也不给咱写呀。这回可好，登门拜访了，兴许有篇稿子能发表啦。”  
人名 言う 貴方 否定 知る 私 書く の 原稿 毎回 つき返す さえ 助数詞 手紙 も 否定 に 我々 書く 感嘆詞 今回 強調 良好い 家を訪ねる たら 多分 ある 助数詞 原稿 できる 掲載 感嘆詞  
 《轱轳把胡同9号》  
 「ご存じなからうが、これまで僕の原稿はいつもつき返される、中には手紙一本入っていなかった。それが今度は家までたずねてきたくらいだから、きつと僕の原稿が掲載されることになっていたのでしょ

う。」  
 例(9)の「人家」の理解には、前文に出現する「我写的稿子每次退回来」(僕の原稿はいつもつき返される)及び後続する文「稿子能发表」(原稿が掲載される)から推測される「投稿」という行為、「投稿」の意味フレームが必要である。話し手の共有知識領域には話し手の「投稿」というエピソード記憶が登録されているが、言語文脈領域に導入された「人家」の指示対象はその「投稿フレーム」中の関連人物、具体的には、原稿掲載の可否を決定することが可能な人物ということになる。例(9)の「人家」の指示対象の同定の仕方を示すと次のようになる。

「人家」の直前に発話された内容が示す話し手の投稿に関するエピソード記憶はその共有知識領域にA1として存在する。「人家」が発話されると言語文脈領域にa1として導入される。このa1の指示対象は共有知識領域にあるA1の「投稿フレーム」内にある人物とリンクで結ばれている。一方、聞き手においては、その言語文脈において話し手のa1がそのままa2としてコピーされる。このa2の指示対象は聞き手の共通知識領域にある(と想定される)「投稿フレーム」中の人物である。すなわち、例(9)の「人家」も言語文脈領域と共有知識領域の両方にまたがるハイブリッド型の指示と言える。以上を図示すると、図1-10および図1-11になる。

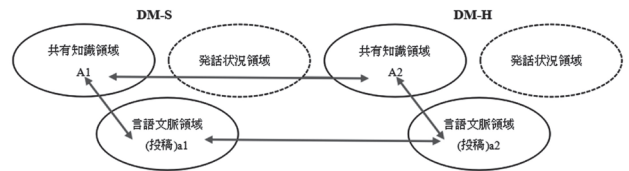


図 1-10 「投稿」の談話モデル

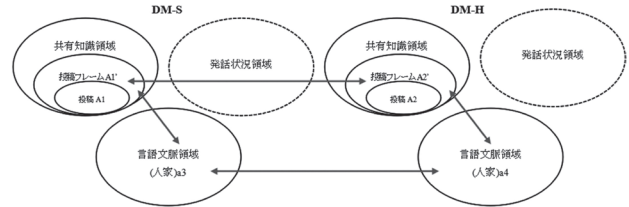


図 1-11 「人家」の談話モデル

このように、「関連対象喚起用法」における「人家」の指示対象の同定は、その連想を可能にする特定の出来事や機関・場所を示す名詞のみならず、同じくその連想を可能にする特定の出来事を示す文脈によっても行われる。

次の例(10)も同様に、先行文脈の内容から「人家」の指示対象が同定される例である。

- (10) 他也是被抓进去的，身不由己，可能是人家觉得他像谁。  
彼 も た 受身 捉える 入る 思う通りにいかない かもしれない だ 思う 彼 似る 誰 (張・方 1996:165)  
 「彼は捕らえられ牢獄に入れられていた。自分の思う通りに行動できない。彼は[警察関係者に]犯人と思われているのかもしれない。」<sup>10)</sup>

例(10)では、「被抓进去的」(捕らえられた)、「身不由己」(自分の思い通りにはならない)、「觉得他像谁」(彼が誰かと似ていると考えられる)という文脈から、話し手の共有知識領域には「犯罪」という行為の指示対象A1があり、この「犯罪」という行為には「犯罪フレーム」(A1')があると思われる。話し手が「人家」を発話すると言語文脈領域にa1が導入されるが、その指示対象は「犯罪フレーム」(A1')の中において連想される人物、ここでは文脈から「警察関係者」と知識リンクで結ばれる。一方、聞き手においては、話し手が「人家」を発話した際に導入されたa1がa2としてコピーされるが、このa2の指示対象は、聞き手の共有知識領域にある(と想定される)「犯罪」という行為の指示対象A2が持つ「犯罪フレーム」(A2')において連想される人物、すなわち「警察関係者」とリンクする。そして、話し手の共有知識領域にある「犯罪フレーム」(A1')内において連想される「警察関係者」と聞き手の共有知識領域にある「犯罪フレーム」(A2)において連想される「警察関係

者」がリンクされると、話し手の「人家」の指示対象と聞き手の「人家」の指示対象の同一性が保証されることになる。以上を図示すると、図1-12、図1-13になる。

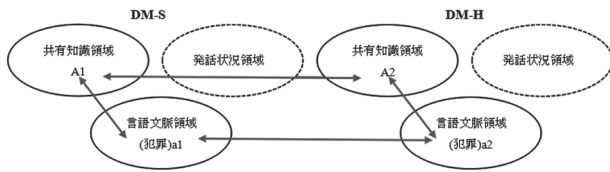


図 1-12 「犯罪事件」の談話モデル

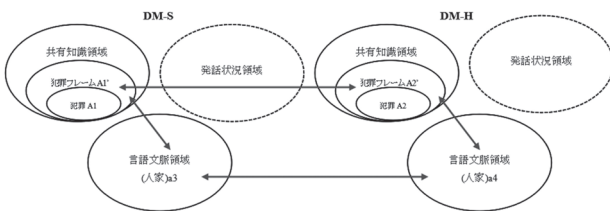


図 1-13 「人家」の談話モデル

以上、談話モデル理論を用いながら、「人家」の関連対象喚起用法の分析を試みた。その結果、「人家」は、他の人称代名詞とは異なり、その先行文脈内に照応すべき人を示す語がなくても、その先行文脈に出現した機関・場所を示す語、また、特定の出来事を示す語、さらに、文脈が示す出来事が喚起する意味フレームの中で最も連想されやすい人物をその指示対象とすることが明らかになった。この「人家」の「関連対象喚起用法」における指示対象の同定のあり方を東郷（2000）の談話モデル理論に従い再度確認するならば次の1から9のようになる。同用法が出現する際には、話し手の談話モデルDM-Sと聞き手の談話モデルDM-Hの共有知識領域と言語文脈領域が活性化され、DM-Sの共有知識領域に登録される対象とDM-Hの共有知識領域に登録される対象の同一性が保証されているということになる。

1. 話し手が「人家」を発話すると言語文脈領域に a1 が導入される。
2. a1 の指示対象の同定は、話し手の共有知識領域にある指示対象 A1 と知識リンクで結ばれることによって行われる。
3. 話し手の共有知識領域にある指示対象 A1 は文脈内の機関・場所を示す語、特定の出来事を語、文脈が示す特定の出来事等によって示されるもので、各自特有の意味フレーム A1' を持つ。
4. 「人家」の指示対象 a1 は、共有知識領域にある指示対象 A1 が持つ意味フレーム A1' 内において最も連想されやすい人物である。

5. 聞き手は、話し手が発話した「人家」を聞くと、その言語文脈領域に a1 のコピーである a2 を導入する。
6. a2 の指示対象の同定は、聞き手の共有知識領域にある（と想定される）指示対象 A2 と知識リンクで結ばれることによって行われる。
7. 聞き手の共有知識領域にある指示対象 A2 は文脈内の機関・場所を示す語、特定の出来事を語、文脈が示す特定の出来事等によって示されるもので、各自特有の意味フレーム A2' を持つ。
8. 「人家」の指示対象 a2 は、共有知識領域にある指示対象 A2 が持つ意味フレーム A2' 内において最も連想されやすい人物である。
9. 話し手の共有知識領域にある指示対象 A1 が持つ意味フレーム A1' 内において最も連想されやすい人物と聞き手の共有知識領域にある指示対象 A2 が持つ意味フレーム A2' 内において最も連想されやすい人物が知識リンクで結ばれることにより、「関連対象喚起用法」の「人家」の指示対象の同定は完了されたことになる。

## 5. おわりに

本稿では、中国語の人称詞「人家」の関連対象喚起用法を対象にしながら、その特徴を東郷（2000）の提唱する談話モデル理論を用いながら分析した。その結果は次のようにまとめられる。

「人家」の関連対象喚起用法とは、旁称代名詞「別人」、3人称代名詞「他」、1人称代名詞「我」、2人称代名詞「你」との置換が不可能な「人家」の用法を指す。この「人家」の関連対象喚起用法を東郷（2000）の談話モデル理論に従って分析した結果、その指示対象の同定と理解は以下のように行われることが明らかになった。

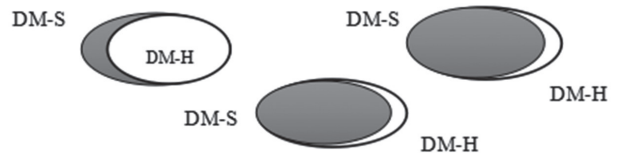
「人家」の関連対象喚起用法では、まず、話し手が「人家」を発話することにより、言語文脈領域にその指示対象が導入されることになるが、この指示対象の同定は話し手の共有知識領域にある指示対象を介して行われる。この共有知識領域にある指示対象は、主に先行文脈に出現した機関・場所などを示す語、特定の出来事を示す語、また、主に先行文脈の内容自体が示す出来事等によって示されるが、「人家」の指示対象は、それらの語が指示する事物ではなく、それらの語が持つ「意味フレーム」の中においてもっとも連想されやすい人となる。一方、聞き手においても、話し手と同じような手順で、指示対象の同定が行われる。つまり、話し手が「人家」を発話することにより、聞き手の言語文脈領域にもその指示対象が導入されることになるが、その同定は聞き手の共有知識領



域にある指示対象を介して行われる。その共有知識領域にある指示対象は、主に先行文脈に出現した機関・場所などを示す語、特定の出来事を示す語、また、主に先行文脈の内容自体が示す出来事等によって示されるが、「人家」の指示対象は、それらの語が指示する事物ではなく、それらの語が持つ「意味フレーム」の中においてもっとも連想されやすい人となる。ここで重要なのは、話し手の共有知識領域にある「意味フレーム」の中で連想された人と聞き手の共有知識領域にある「意味フレーム」の中で連想された人との間にリンクが結ばれる点である。そのリンクが結ばれ、それぞれ連想された人の同一性が確認されて初めて話し手と聞き手は当該「人家」の指示対象を完全に理解したことになる。

注

- 1 簡単に中国語の代名詞の中で「旁称」と呼ばれているものについて説明しておきたい。中国語において、「旁称」あるいは「旁称代名詞」と呼ばれるものは、人称代名詞の下位概念に相当するものである。楊(1963:38)は、「和己身称相对应的是旁称，现代语用“人家”“别人”诸词，古文用“人”字。(自称と対をなすのが旁称であり、現代中国語では「人家」、「別人」など、古代漢語では「人」が使用される。)」と述べている。一方、翟(2005:1)は、「旁称代名詞」について「用来泛称说话人和听话人以外的人的词。(話し手と聞き手以外の不特定の人を指すことばである。)」と定義している。
- 2 日本語訳は牛島徳次・菱沼透監訳(2003)『中国語文法用例辞典』p.328より引用。
- 3 資料体の詳細は第3節で説明する。
- 4 詳細は付録を参照されたい。
- 5 東郷(2002:3)を筆者が一部修正したもの。東郷(2000:14-15)は、話し手の談話モデルDM-Sと聞き手の談話モデルDM-Hの正しい図は次のようなものであるが、便宜上、DM-SとDM-Hを左右に描き、知識リンクで結ぶと述べている。本稿も便宜上図1-1で示すように表示する。



上の図でグレーの部分がDM-S、白い部分がDM-Hである。

- 6 ここで言う「人称代名詞」には旁称代名詞「別人」も含まれている。
- 7 日本語訳は筆者による。
- 8 本稿で言う「フレーム」はFillmoreの提唱したフレーム意味論の概念を指す。ある語の理解にはその語に関連する背景知識が必要になるが、フレームはそのような背景知識のことを言う。
- 9 点線で表示する領域は、活性化されていない領域である。
- 10 日本語訳は筆者による。

参考文献

订本)》, 商务印书馆

<日本語>

- Fauconnier, G. (1994) *Mental Spaces*, Cambridge University Press.=1987, 坂原茂[他]訳, 『メンタル・スペース: 自然言語理解の認知インターフェイス』白水社
- 東郷雄二 (1998) 「談話モデルと指示」, 『話し言葉のフランス語に見る文法の形成過程の研究』(科研費研究成果報告書), pp.34-60.
- 東郷雄二 (1999) 「談話モデルと指示 - 談話における指示対象の確立と同定をめぐって」, 『京都大学総合人間学部紀要』6巻, pp.35-46.
- 東郷雄二 (2000) 「談話モデルと日本語の指示詞コ・ソ・ア」, 『京都大学総合人間学部紀要』7巻, pp.27-46.
- 東郷雄二 (2002) 「不定名詞句の指示と談話モデル」, 『談話処理における照応過程の研究』(科研費研究成果報告書), pp.1-35.
- 楊凱栄 (1991) 「現代中国語における人称代名詞「人家」について—三人称代名詞「他」との比較を通じて—」, つくば言語文化フォーラム編 『対照研究』, pp.34-50.

<中国語>

- 楊伯峻 (1963) 《文言文法》, 中华书局
- 呂叔湘主編 (1980) 《現代漢語八百詞》, 商务印书館 =2003, 牛島徳次・菱沼透監訳, 『中国語文法用例辞典—《現代漢語八百詞増訂本》日本語版』東方書店
- 王力 (1985) 《中国現代語法》, 商务印书館
- 張伯江, 方梅 (1996) 《漢語功能語法研究》, 江西教育出版社
- 邱妙津 (2000) 称代詞「人家」の語義及語用研究, (台湾師範大学未刊行修士論文)
- 杜道流 (2002) 指代詞“人家”の修辭作用, 《当代修辭学》03期, pp.21,32-33.
- 邵敬敏 (2003) 《漢語語法學史稿》, 商务印书館
- 翟穎華 (2005) 現代漢語旁称代詞研究, (武汉大学未刊行修士論文)
- 万中亚 (2006) 从视角转换看“人家”的语义, 《周口师范学院学报》06期, pp.98-100.
- 楊春冉, 楊青雲 (2006) 指代詞“人家”的指称功能及修辭效果, 《安徽文学(下半月)》09期, pp.46-47.
- 張旺熹, 韓超 (2011) 人称代詞“人家”的劝解场景与移情功能——基于三部电视剧台词的话语分析, 《语言教学与研究》06期, pp.44-51.
- 張曉寧 (2012) 人称代詞“人家”的语义与语言的主观性, 《文教资料》09期, pp.34-35.
- 劉月華, 潘文娛, 故鞏 (2015) 《实用現代漢語語法(增

## 付録

表1-1 『中日対訳コーパス』からの中国語小説の概要

| 中国語原文   |     |             | 日本語訳文             |              |                 |
|---------|-----|-------------|-------------------|--------------|-----------------|
| 小説名     | 著者  | 出版社(年)      | 訳本名               | 翻訳者          | 出版社(年)          |
| 挿队的故事   | 史铁生 | 山东文艺 (2001) | 遙かなる大地            | 山口守          | 宝島社(1994)       |
| 丹凤眼     | 陈建功 | 上海文艺 (1981) | 鳳凰の眼              | 岸陽子<br>斉藤泰治  | 早稲田大学出版部 (1993) |
| 盖棺      | 陈建功 | 北京文学 (1979) | 棺を蓋いて             | 岸陽子<br>斉藤泰治  | 早稲田大学出版部 (1993) |
| 关于女人    | 谢冰心 | 天地 (1943)   | 女の人について           | 竹内実          | 朝日新聞 (1993)     |
| 活动变人形   | 王蒙  | 人民文学 (1987) | 応報                | 林 芳          | 白帝社 (1992)      |
| 红高粱     | 莫言  | 人民文学 (1986) | 赤い高粱              | 井口晃          | 岩波書店 (2003)     |
| 金光大道    | 浩然  | 人民文学 (1972) | 輝ける道              | 神崎勇夫         | 東方書店 (1974)     |
| 家       | 巴金  | 开明书局 (1933) | 家                 | 飯塚朗          | 鎌倉文庫 (1948)     |
| 轱辘把胡同9号 | 陈建功 | 中国作家 (1989) | 轆轤把胡同九号           | 岸陽子<br>斎藤泰治  | 早稲田大学出版部 (1993) |
| 轮椅上的梦   | 张海迪 | 中国青年 (1991) | 車椅子の上の夢           | 飯塚朗          | 新潮社 (1994)      |
| 骆驼祥子    | 老舍  | 人民文学 (1955) | 駱駝祥子              | 立間祥介         | 岩波書店 (1980)     |
| 呐喊      | 鲁迅  | 北京新潮 (1923) | 呐喊                | 松枝茂夫<br>和田武司 | 講談社 (1975)      |
| 青春之歌    | 杨沫  | 作家 (1958)   | 青春の歌              | 島田政雄<br>三好一  | 青年 (1977)       |
| 倾城之恋    | 张爱玲 | 上海杂志(1943)  | 傾城の恋              | 池上貞子         | 平凡社<br>(1995)   |
| 人啊, 人   | 戴厚英 | 广东人民 (1980) | ああ、人間よ            | 大石智良         | サイマル (1988)     |
| 棋王      | 阿城  | 上海文学 (1984) | チャンピオン            | 立間祥介         | 徳間書店 (1989)     |
| 小鮑庄     | 王安忆 | 上海文艺 (1986) | 小鮑庄               | 佐伯慶子         | 徳間書店 (1986)     |
| 霜叶红似二月花 | 茅盾  | 华工书店 (1943) | 霜葉は二月の花に<br>似て紅なり | 立間祥介         | 岩波書店 (1980)     |
| 钟鼓楼     | 刘心武 | 人民文学 (1985) | 鐘鼓楼               | 蘇琦           | 恒文社 (1993)      |

(中国語小説名のピンインアルファベット順による)

表1-2 80年代以降の中国語現代小説の概要

| 作品名   | 背景年代     | 著者     | 出版社(年)         |
|-------|----------|--------|----------------|
| 半路夫妻  | 現在       | 彭三源    | 华文出版社 (2006)   |
| 奋斗    | 現在       | 石康     | 万卷出版社 (2008)   |
| 欢乐颂   | 現在       | 阿耐     | 四川文艺出版社 (2012) |
| 家有九凤  | 1977年～現在 | 高满堂    | 万卷出版社 (2009)   |
| 蜗居    | 1998年～現在 | 张辛(六六) | 长江文艺出版社 (2009) |
| 幸福来敲门 | 1980年～現在 | 严歌苓    | 花山文艺出版社 (2011) |

(小説名のピンインアルファベット順による)

# An analysis of the modern Chinese personal pronoun "Renjia" based on Discourse Model Theory

Ren Xiaoxue

The word "renjia" in Chinese is recognized as both a noun and a personal pronoun. In this research, we target the use of "renjia" as a personal pronoun. There are various usages of "renjia" as a personal pronoun such as referring to various personalities. Although there are detailed descriptions of each usage in the previous research, there is little discussion about the essential functions of "renjia".

The purpose of this study is to elucidate the essential functions of "renjia" used as a personal pronoun according to Togo's "Discourse Model Theory" (2000). We will examine how this theory can explain the usage of "renjia" as the "associative anaphora".

So far, it has been considered possible to replace each usage of "renjia" with a personal pronoun corresponding to the function. However, some of the data collected by the author cannot be replaced with personal pronouns. Such occurrences have not been mentioned in previous studies. In this research, we will refer to the "associative anaphora" usage, and we would like to clarify its characteristics.

As a result, using the Discourse Model Theory of Togo (2000), which has been developed from Mental Space Theory, we clarified that the "associative anaphora" usage of "renjia" can be used by activating different mental areas.